

がん化学療法処方

プロトコール名: 濾胞性リンパ腫 オビヌツズマブ維持療法(1クール56日)
(下に実際の投与方法を記載)

投与日	薬品名	投与経路	投与時間
d1	① デキサート注射液6.6mg+生理食塩液50mL	div	15分
	② 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
	③ ガザイバ点滴静注 1000mg+生理食塩液210mL <1サイクル目の投与でgrade3以上のinfusion reactionが出現しなかった場合> 投与速度25mL/hで開始, 30分後に225mL/hに増量 (30分後の投与速度は最大225mL/hまでの範囲で変更可)。 0.2又は0.22 μ mのインラインフィルターを使用 点滴開始30分前までにカロナール錠500mg2錠とレスタミン錠10mg5錠内服 全量250mLに合わせる。	div	**
	④ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
d1	カロナール錠500mg 2錠 レスタミンコーワ錠10mg5錠	p.o.	

プロトコール適応時表示コメント

G-CHOP療法、G-Benda療法の維持療法。最大2年間。
ガザイバ点滴開始30分前までにカロナール錠500mg2錠とレスタミン錠10mg5錠内服。

照射併用時照射線量

グレイ (備考欄)